

### 予選8位から粘りの走行で2位フィニッシュ

### 連続表彰台でシリーズチャンピオン獲得に向けて突き進む

TOYOTA GAZOO Racing GR86/BRZ CupはGR GR86 Cup Car BasicとSUBARU BRZ Cup Car Basicを使ったワンメイクレースでプロフェッショナルシリーズとクラブマンシリーズの2シリーズ制で行われております。プロフェッショナルシリーズには、SUPER GTに参戦中の現役トップドライバーも複数人参加する、国内屈指の高いレベルを誇るワンメイクレースとなっております。



T×2 CABANA RACING 堤優威 ゼッケン1

堤優威がドライブする「T×2 CABANA RACING CABANA BS GR86」、国内のトッププロがしのぎを削る、TOYOTA GAZOO Racing GR86/BRZ Cupプロフェッショナルシリーズにおいて、昨シーズンは優勝1回、2位3回、3位1回と全7戦中5回の表彰台を獲得したことで、悲願のチャンピオンを獲得しました。

九州・オートポリスで開催された2026年シリーズ第1戦では予選2位を獲得。決勝レースもあと一歩で優勝というところでしたが、ライバル選手にわずかに届かず2位でフィニッシュをしました。優勝を逃したことは惜しいところですが、シリーズチャンピオン獲得を目指すには上出来な開幕戦でした。

第2戦は東北・スポーツランドSUGOで開催されました。チームは木曜からサーキット入りし、3本の練習走行を行いタイヤやホイールのマッチング、サスペンションのセッティングを行いました。しかしながら3本の走行のうち2本目に雨が降ってしまい、思うようにセッティングなどのメニューを消化できず課題が残りました。昨年のデータを活用しながら、セットアップを進め練習走行でも上位で走行を終え、堤は「占有走行が少なかったのと、雨が降ってしまったため思うような結果にはなっていませんが、それでも上位で走れているので、予選はタイヤの内圧も含めて最後の調整をして挑みたいと思います」と意気込みを語ります。

## QUALIFY

公式予選【PRO】 2026年5月16日(土) 16:00～ 天候：晴れ 路面：ドライ  
タイム1'35.170 順位 8位

今回のスポーツランドSUGOの第2戦は、真夏ような日差しが照りつける中で予選開始となるはずでしたが、ピットロードに並ぶ直前で、先に行われていたクラブマンクラスにてオイルを噴出する車両がコースを周回。そのオイル処理のため赤旗中断となり、予選開始時間が大幅に変更となりました。本来であれば14時10分から開始されるどころ、他のレーススケジュールが優先されプロクラスは16時からの予選となり、予定の時間で想定した気温と路面温度に合わせたタイヤ内圧を、改めて調整して挑むこととなりました。16時に仕切り直して20分の予選が開始されます。堤は最後の5分まで、路面状況が安定するのを待ち、ライバルのタイムを確認してマシンに乗り込み予選に挑みました。トップの1'34.665という従来の記録タイムを塗り替えるタイムを確認しながらも、丁寧にタイヤを温めアタックに入っていきます。堤も記録タイムを塗り替える1'35.170を刻みますが、8位という順位になりました。



正式結果では14位までが従来の記録タイムを塗り替えるという全体的にタイムアップと接戦が繰り広げられた予選でした。

# RACE

決勝レース【PRO】 2026年5月17日(日) 14:00~ 13Laps 天候:晴れ 路面:ドライ

タイム: 21'12.344 順位: 2位



前日と同じく真夏のような日差しが照りつける中、13時40分からグリッドウォークが開始されます。スポーツランドSUGOはコース長が3,621mと国内サーキットの中では短い部類に入るため、他のサーキットでは10週のレースとなるところ、スポーツランドSUGOでは13周で競われます。1週のフォーメーションラップを終えて、14時にレースがスタートします。8位からのスタートでしたが、3位の選手

がスタートをミスしたことで順位をひとつあげて周回に進んでいきます。1周目が済む頃には順位を4位まであげ、2周目以降に入っていきます。前の3位を走るのと同じブリヂストンタイヤを履く2号車の清水英志郎選手です。上位2台はダンロップタイヤユーザー。その後ろを清水選手と堤のブリヂストンユーザーが追いつけていきます。4周目には2位の選手のペースが落ち始め、さらに5位を走行していたCABANAチーム所属でIBARAKI TOYOPET RACING TEAM から参戦する箕輪 卓也選手が追いつけてきて、2位から5位までがワンパックの状態です。5周目に清水選手が2位にポジションアップ。堤も8周目に3位にポジションアップ。さらに堤は10周目最終コーナーで2位を走る選手のインから並走し、11周目突入の1コーナーで見事に追い抜くことに成功します。ライバルの巧みな走りに走路をブロックされてしまい2位にポジションアップするのに時間を要してしまいました。その間にトップの清水選手には2秒のギャップを作られてしまい、追従するのは少し距離ができていましたが、その後は後続を押さえ込み2位フィニッシュとなりました。開幕戦オートポリスに続き2位となりましたが、8位からのポジションアップという驚異的な走りを見せてゴールし、シリーズランキングではトップに踊り出しました。



# COMMENTS

チームスタッフ&ドライバー コメント

T×2 CABANA RACINGチーム監督

安藤 宏



予選はディレイの影響で想定順位よりだいぶ下回ってしまいましたが、決勝当日は好天で気温もあがり堤選手の本来のパフォーマンスを発揮できるのではと期待を持ってレースに臨みました。確固たる根拠があった訳ではなかったのですが、1週目までに5番手くらいまでポジションを上げられれば上位進出、表彰台のチャンスもあるかなと思っていたので、1周目を4位で戻って来れたのは予想を上回る最高のスタートでした。そこから中盤、終盤まで粘り強く前走車を捉えていき、最終的には2位でゴールできたのは予選8位スタートのレースとしては文句のない結果だったと思います。またこのレースはチーム所属ドライバーの箕輪卓也選手も、予選5位からの3位表彰台と速さを見せ好結果を得たため、チームの育成としても実りのあるレースだったと思います。今大会も好結果で終わられたことをチームを支えて下さるスポンサー、ファンの皆様に御礼申し上げます。

ドライバー #1 CABANA BS GR86

堤 優威



予選でタイヤの内圧の設定をミスしてしまい、うまくタイムを出すことができず8位という結果になってしまいました。決勝ではスタートでライバルの1台がミスをしたことで順位を上げることもできましたが、自分のスタートもうまく決めることができたため、1周目を終えた段階で4位で戻ってくることができました。その後はストレートでの速度が伸びず苦戦してしまいました。そのため前を走るダンロップタイヤを履く松井選手を抜くのに手間取ってしまいましたが、その後ダンロップタイヤが後半でタイムが落ちてくるだろうと予想していました。トップで走り始めた菅波選手も終盤で追い抜くことができ、予想した通りの展開になりました。予選8位から2位フィニッシュは上出来な結果だと思います。

今回の2位でランキングもトップになりました。次戦は岡山大会になりますが、連続2位なので優勝を狙って走っていきたいと思います。

Rd. 2 スポーツランドSUGO チーフメカニック

齋藤 義史



予選は失敗というほどでは無かったのですが、タイヤの適正内圧がやや外れてしまいました。そのため決勝では堤選手と、チーフエンジニアの山崎氏とも相談して、レース前半で勝負に挑めるようなセッティングにしました。SUGOは抜きにくいので後半になればなるほど抜くのが大変になると思います。前半で大幅に順位をあげることができたため、レース中盤から後半にかけてはライバルのダンロップタイヤがタイムが落ちてくることで、見事に追い抜いてくれたと思います。終盤に後続の同じブリヂストンタイヤを履く箕輪選手に追い上げられてしまいました。速さが少し足りていないところがありますので、次戦の岡山大会にはその辺を修正し、長いシリーズを考えてポイントを取りこぼさないようにしていきたいです。

BRIDGESTONE BRIDE EXEDY Speedhack Store Neuf TOMEI GROUP CABANA Child.co.,Ltd

POTENZA HYPER WATER. KREX INGINGMOTORSPORT. UnitedSound 焼肉上田屋 株式会社 佃 苺 繁乃齋